

第1回日本小児在宅医学会学術集会 参加報告

慢性呼吸器疾患看護認定看護師 塙健

テーマ

**こども・きょうだい・家族によりそなえ在宅医療
～多職種のプロフェッショナリズムを追求する～**

去る9月13日・14日に日本小児在宅医学会の学術集会に参加してきました。昨年までは研究会という形で実施していたものが、今年度に晴れて学会規模となり、記念すべき第1回大会になります。

日本小児在宅医学会は、年々増加する在宅生活をしながら医療的なケアを受ける医療的ケア児や小児がんの子どもたちの在宅での医療・ケアを支える取り組みを続けています。例えば、2021年に施行された「医療的ケア児及びその家族の支援に関する法律」の普及に取り組み、2026年度の改正に向けて意見の発信をしているところです。

通常、看護学会や医学会では参加者が医療従事者のみとなっていることが多いです。日本小児在宅医学会の大きな特徴は、医療的ケア児当事者や家族なども学会に参加し、講演を行うことがあります。今回大会でも、医療的ケア児を育てるご家族の講演をいくつか聴講することができました。生まれた後で我が子が医療的ケア児であるとわかり、出産後の母子同室が叶わず、ひとり部屋で途方に暮れた話、そこから我が子の為に栄養相談ができるコミュニティサイトを立ち上げた活動の話を聞くことができました。私自身も医療従事者であり子育て中の親ですが、我が子を思う親の気持ちと当事者抜きでは医療やケアは成り立たないということを改めて実感しました。

また、当事者の親としての野田聖子議員の講演では、前出した「医療的ケア児及びその家族の支援に関する法律」の改正に向けた問題点を聞くことができました。日本の法律では18歳を過ぎると「小児」ではなくくなってしまう為、法律の範囲外となってしまい社会の中での行き場が非常に少なくなってしまう問題点などを共有することができました。

これらの問題点がある一方で、実は韓国や台湾には在宅の医療的ケア児を支援する法律はまだないそうです。誰もが社会の中で幸せに生きられることを目指す宣言をした法律は、実は世界各国であるわけではないことを知り、自分の毎日の仕事の大切な意義を再認識する機会となりました。次年度は横浜開催の予定なので、興味のある方はぜひ参加してみてください。



〒183-8553

東京都府中市武蔵台2-9-2

東京都立府中療育センター

電話 042(323)5115
FAX 042(322)6207

*-*ホームページもご覧下さい*-*

[http://www.fukushi.metro.tokyo.jp/
fuchuryo/index.html](http://www.fukushi.metro.tokyo.jp/fuchuryo/index.html)

ひだまり

東京都立府中療育センター新聞 第574号 発行日 令和7年10月31日

地域療育講習会

摂食嚥下障害看護認定看護師 谷野町子

9月26日に第37回地域療育講習会が開催されました。参加申し込みは109人でしたが、中には1件の申し込みで複数の方が視聴された施設もあり、多数の方にご参加いただきました。[今回のテーマは「障害児者の食べることをサポートする～発達と加齢による変化を踏まえて～」](#)です。

小児科渥美医師からは「障害児の摂食嚥下障害～現状を把握し、将来も考え多角的に対応する～」と題して、小児期の痩せの問題をはじめ、思春期・成長期・成人期それぞれの特徴的問題とライフスパンについて話され、将来を見据えた関わりをしていくことの必要性をお伝えしました。歯科大房医師からは「口の機能を知ろう～年齢による変化を踏まえて～」と題して一般的な口腔機能の発達と障害がある方の口腔機能の発達、併せて口腔ケアについて話され、基本的な口の動きを理解したうえで個々に合わせたサポートが必要であるということをお伝えしました。吉本言語聴覚士からは「食事姿勢について」と題して食事に適した姿勢と脳性麻痺のタイプ別姿勢の特徴、姿勢のコントロール方法について話され、食事にとっての姿勢の大切さをお伝えしました。竹内管理栄養士からは「個人の摂食嚥下機能に応じた食形態について」と題して嚥下調整食についての説明と個々に合わせた食事形態を提供するための工夫、加工のポイントや手元調整について話され、安全に喫食していただくための栄養科の取組についてお伝えしました。摂食嚥下障害看護認定看護師谷野からは「摂食支援での関りのポイント～成長発達期から成人まで～」と題してセンターの摂食外来の紹介から成長発達期の特徴、長期利用者への支援の様子から成人の特徴をお話しし、それに合わせた関わりのポイントをお伝えしました。

各専門的な視点からの講義でしたが、共通して言えることは利用者の食べたいという気持ちや本人のモチベーションを大切にして『安全に、食べることを楽しんでもらいたい』という思いで関わっているということです。時間の制約があり、十分にお伝え出来なかつた部分もありますが、今回の講習会が障害児者の食べることへのサポートの一助となれば幸いです。



お楽しみ会

3D 福祉職

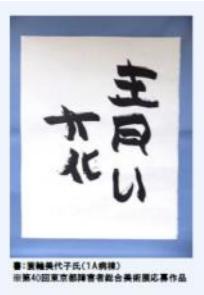
10月8日（水曜日）のお楽しみ会では、フルート三重奏「コスモス」さんをお招きして秋のコンサートを開催いたしました。

10月にお誕生日を迎えた方々を、生演奏にて「ハッピーバースデイトゥユー」でお祝いさせていただきました。コンサートでは、ジブリやディズニーなどのアニメ、クラシック、童謡などバラエティに富んだ様々な曲を演奏していただきました。心地よい音色に癒されたりアップテンポな曲に合わせて声を出して歌っているような様子が見受けられ皆さんのが想いがあふれていきました。「幸せなら手をたたこう」では、スタッフと握手をする、楽器を鳴らすなど、にぎやかな催しもあり、やさしく美しいフルートの音色を心ゆくまで楽しむことができました。



第17回センター祭開催！(速報)

府中療育センター祭実行委員会事務局



10月24日（金）と25日（土）の2日間、第17回センター祭が開催されました。青空の元スタートした金曜日も午後から雨模様。翌土曜日はあいにくの雨で屋内での開催となりました。そんな中でも多くの皆さんにご参加いただき、盛況のうちに終了することができました。

当日のメイン会場に加えて、イベント日をはさんだ「センター祭週間」では“全体制作『作ろうDream Kart』”やスタンプラリー、各部署の展示作品と盛りだくさんのプログラムとなりました。

センター祭の様子は、次号にて詳しくお伝えする予定です。どうぞお楽しみに！！

通所 社会見学&お月見会

通所 濑野由佳



社会見学



10月3日（金曜日）に通所では初めて「HANA・BIYORI」に出かけました。「HANA・BIYORI」はよみうりランドの隣にある施設で、季節のお花がたくさん咲いている庭園と天井からたくさんのお花が吊り下げられている建物があり、その中には熱帯魚が泳いでいる水槽があるカフェやコツメカワウソなど写真映えするスポットがたくさんありました。参加された利用者は20代の男性お二人で、昼食後の出発ではありましたが、しっかりと目を開けて周囲の様子を見ていました。ちょうどハロウィンの装飾もあり、小道具などもお借りして楽しく写真撮影ができました。お土産コーナーでは、誕生日ごとのコツメカワウソのぬいぐるみストラップと誕生日ごとの浮き輪を購入し、ご家族が待つ自宅へと帰りました。



お月見会



10月6日（月曜日）十五夜にお月見会を行いました。午前中はうさぎの形の画用紙に一人一人が色を塗ったり、模様をつけて個性的なうさぎを制作しました。

タコ糸を左右の手で上下に移動させると上に登っていく台紙に、制作したうさぎを貼り付け職員と一緒に大きなお月様を目指しました。皆さんうさぎの動きに注目していました。

午後は、天井に星や月の映像をプロジェクターで映し出したお月見の雰囲気の中で、十五夜の由来を聞いた後、お月見クイズを楽しみました。

